

5つのめざす社会



自立した経済が息づく社会

めざす姿⑩

循環する地域経済 地域の課題に応える仕事が次々と生み出され 地域の中で価値が循環する社会

めざす姿⑪

進化する御食国 多様な気候風土を活かして多彩な食を生み出し 地域に豊かな食が行き渡る社会

めざす姿⑫

活動を支える確かな基盤 交流と安全の基盤が整い 自ら危機に備える文化も根付く強靱な社会



自立した経済が息づく社会

循環する地域経済

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「駅前や商店街の活気」については、地方部の点数が、都市部と比べて低くなっている。
- 「地域の企業の活気」は、地域差が大きく都市部が高い傾向にあり、「優れた製品・技術・ブランド力を持った企業」については地域差はほとんどない。

設問32

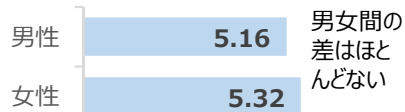
お住まいの地域の駅前や商店街に活気があると思いますか

全体平均

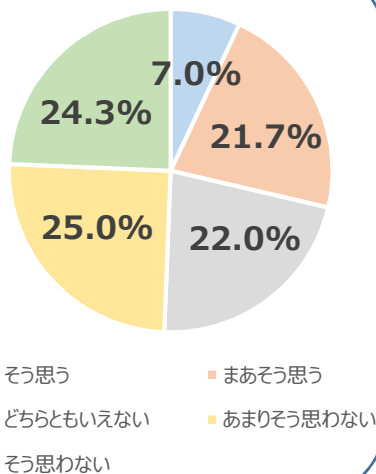


5.24

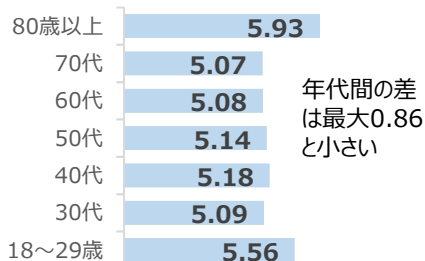
性別



回答割合

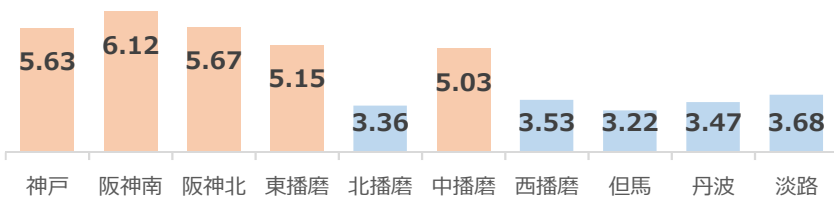


年齢別



地域別

地域による差は最大2.90と大きい。人口が集中し、多数の駅や商店街に人が集まる都市部が高くなっている



設問33

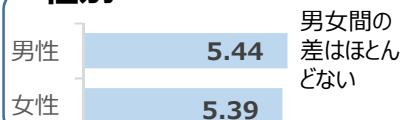
お住まいの地域の企業に活気があると思いますか

全体平均

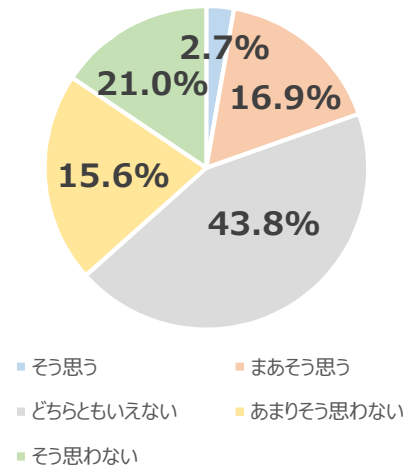


5.40

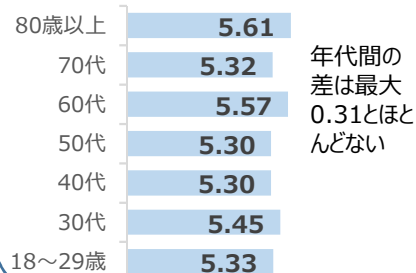
性別



回答割合

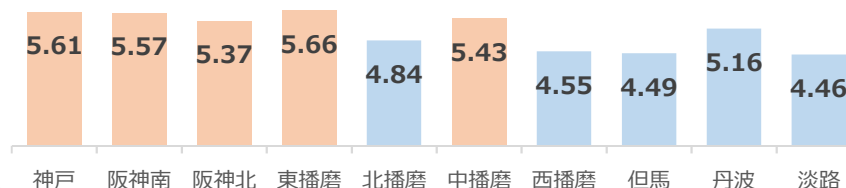


年齢別



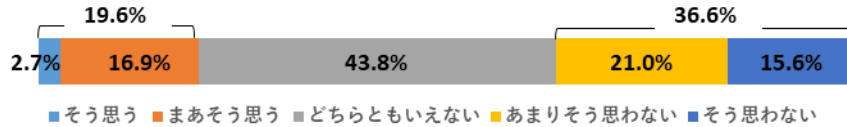
地域別

地域による差は最大1.20とやや大きく、都市部が高い傾向にある



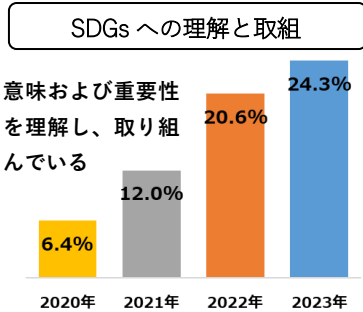
トピックス 地域に根ざした産業の活性化

問 33 お住まいの地域の企業に活気があると思いますか



地域の企業に活気があると「思う」「まあそう思う」と回答した人は全体の19.6%にとどまっており、「そう思わない」「あまりそう思わない」の36.6%を下回っています。

SDGsに関する企業の意識調査
(2023年) (株)帝国データバンク



◆全国に誇る地場産業

県内には、約40の地場産業が集積しています。そのうち、生産金額の大きい主要な産地の中でも、特に清酒、ケミカルシューズ、皮革、手延素麺、真珠加工、線香、釣針、豊岡かばんは全国第1位のシェアを誇り、全国的にも著名な産地として知られています。

◆SDGsへの取組

SDGsの理念や取組は、社会に着実に浸透してきています。企業にとっても、企業イメージの向上などに加え、社会課題の解決に向けた行政等とのパートナーシップのなかで、共創による新事業の創出など、新たなビジネスチャンスにつながるものと期待されており、積極的にSDGsに取り組む企業が年々増加しています。

| 地場産業 | 主な産地 | 生産金額 (百万円) | 企業数 | 全国順位 |
|----------|-----------|---------------|-----|------|
| 清酒 | 県内全域 | 68,401 | 72 | 1位 |
| ケミカルシューズ | 神戸市 | 15,792 | 62 | 1位 |
| 利器工器具 | 三木市周辺 | 24,512 | 134 | 4位 |
| 皮革 | 姫路市、たつの市 | 8,003 | 248 | 1位 |
| 手延素麺 | たつの市周辺 | 15,688 | 404 | 1位 |
| 真珠加工 | 神戸市 | 6,109 | 77 | 1位 |
| 播州織 | 西脇市周辺 | 8,969 | 126 | 1位 |
| 線香 | 淡路市 | 10,467 | 15 | 1位 |
| 釣針 | 加東市、西脇市周辺 | 11,263 | 64 | 1位 |
| 豊岡かばん | 豊岡市 | 8,201 | 62 | 1位 |
| 靴下 | 加古川市周辺 | 4,986 | 50 | 2位 |
| 粘土瓦 | 南あわじ市 | 1,610 | 66 | 3位 |

「令和3年経済センサス」(厚労省)

| | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|-------|
| 兵庫県 | 5.24% | 4.44% | 3.84% |
| 大阪府 | 5.41% | 4.76% | 4.16% |
| 京都府 | 5.17% | 4.42% | 3.74% |
| 奈良県 | 4.79% | 4.14% | 3.99% |
| 和歌山県 | 3.95% | 3.39% | 3.06% |
| 滋賀県 | 4.67% | 4.06% | 3.53% |
| 全国 | 5.11% | 4.37% | 3.87% |

「雇用保険事業統計」(厚労省)

◆起業・創業の推進

本県の令和4年度の開業率は、3.84%と全国平均(3.87%)下回っています。廃業率は2.93%と全国平均(3.24%)と比較して低く抑えられていますが、起業・創業への支援や環境づくりが求められています。

県内企業のSDGsの取組強化

○ ひょうご産業SDGs認証事業

県内企業へのSDGsの周知及び既認証企業の取組の強化・連携を図ることで、総合的にSDGsを推進



ひょうごSDGs

- ・導入段階企業向け
先進企業の優良な取組等について広く発信するとともに、SDGs経営チャレンジテストを実施
- ・実践段階企業向け
インセンティブとして、SDGs関連の展示会への出展を支援
- ・発展段階企業向け
全国的なSDGsプラットフォームへ参画し、企業間の連携や情報交換を促進

公民連携による課題解決

○ ひょうご TECH イノベーションプロジェクト

- ・ひょうご TECH イノベーションプロジェクトは、様々な社会課題・地域課題について、主に県内の起業家や事業者が有する情報通信技術やものづくり等の技術を活用し、その課題解決を図っていくプロジェクト
- ・令和6年度からは、複数企業が同一課題に対して取り組むことのできる枠組みを創設し、地域が抱える課題の解決可能性を高め、参入企業同士のオープンイノベーションを促進





自立した経済が息づく社会

循環する地域経済

■兵庫のゆたかさ指標

設問34

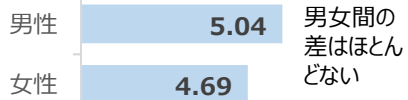
お住まいの地域には、優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っていますか

全体平均

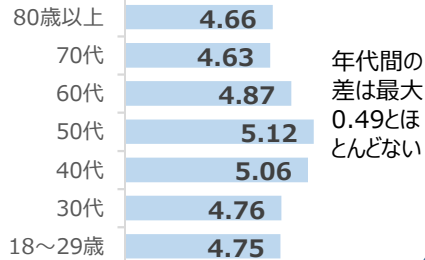


4.84

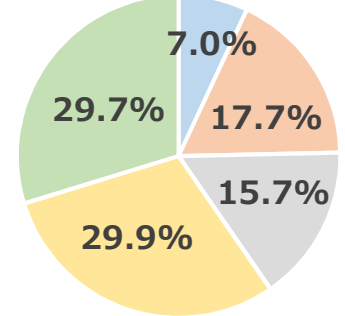
性別



年齢別



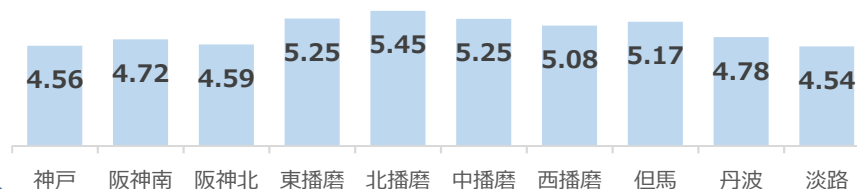
回答割合



- 知っている
- まあ知っている
- どちらともいえない
- あまり知らない
- 知らない

地域別

地域による差は小さく、都市部と地方部といった差はほとんどない



■主な県の取組

- コロナ禍の長期化、物価高騰等による厳しい経営環境下で、急な資金需要に迅速に対応できるセーフティネットとしての役割を継続するため、5,000億円の融資枠を確保し、中小企業の資金繰りを支援（R5融資実績：10,389件、1,817億円（R6.2.29時点））
- 地域の金融機関による事業者への伴走支援（経営改善計画の作成等）に対する補助事業を実施。金融機関と協調して中小企業の経営力強化を促進（累計(R4~)13,989事業者を支援）
- SDGsの視点から地場産業のブランド価値を高め、地場産品の魅力向上を図るため、産地組合のSDGsへの取組を新たに支援（R4:13産地を支援）
- 県内4カ所の「スマートものづくりセンター」において、先端技術を活用した中小企業の技術開発、製品開発を支援（R5: 技術相談・指導件数355件）※R6.2末時点
- 県内6地域に地域しごとサポートセンターを設置し、ビジネス的手法による地域課題の解決を図る取組を支援する「地域しごとサポートセンター事業」を実施(R6.2月時点:74団体が起業)



豊岡かばん（漁網再生生地を利用した鞆）



製造工程をIoTで見える化（スマートものづくりセンター）



自立した経済が息づく社会

進化する御食国

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「農林水産業の活気」については、全体的にやや低い評価である。
- 「地元や県内でとれた農林水産食材を買っているか」については、全体としては7.34と高いが、18～29歳の地産地消意識がやや低めである。
- 「食品廃棄物を出さない暮らし」については、すべての年代・地域で7点台以上と高い水準で、食の分野での環境意識の高まりが感じられる。

設問35

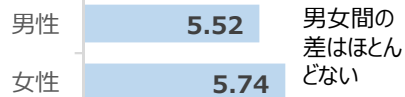
地元や県内の農林水産業に活気があると思いますか

全体平均

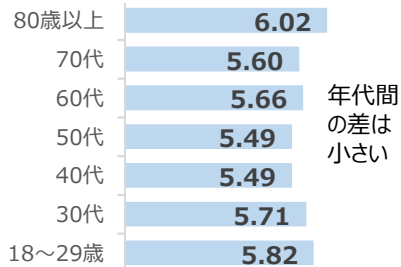
5.66



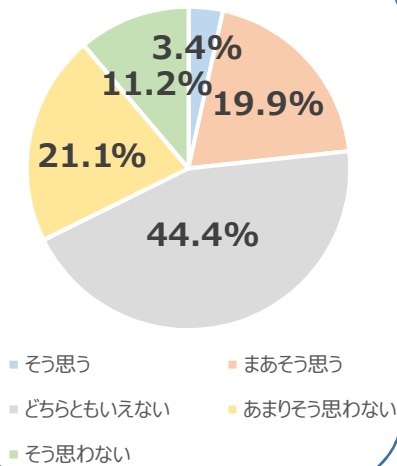
性別



年齢別

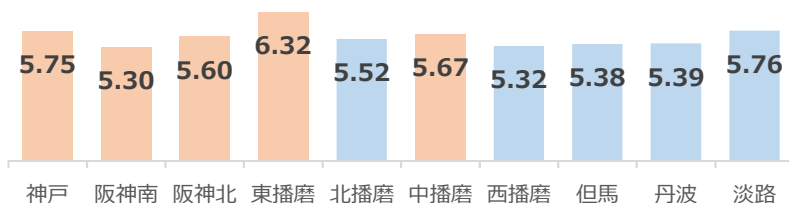


回答割合



地域別

地域による差は最大1.02とやや大きい。ばらつきはあるが、傾向としては都市部が高い



設問36

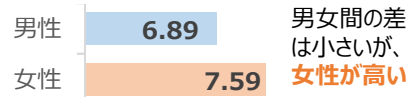
あなたは、地元や県内でとれた野菜、果物、魚介類、肉などの食材を買っていますか

全体平均

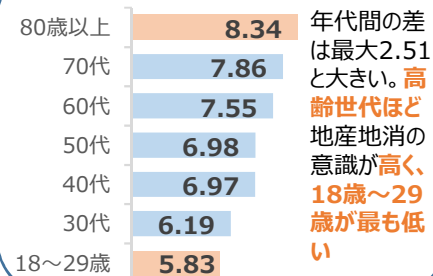
7.34



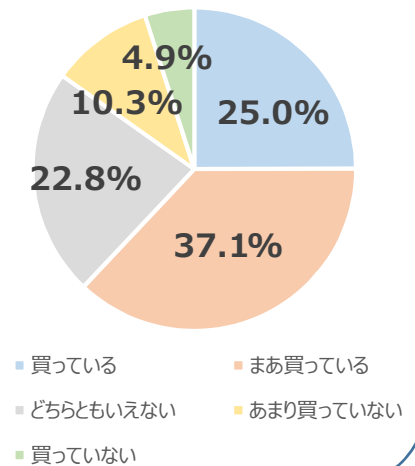
性別



年齢別

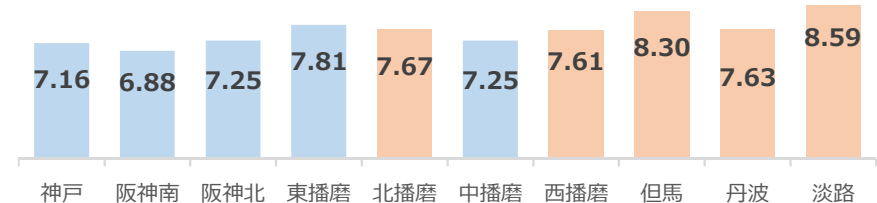


回答割合



地域別

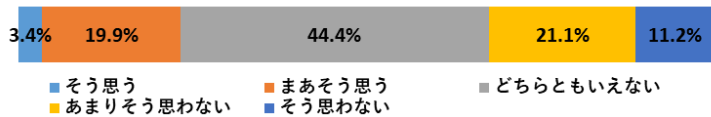
地域による差は最大1.71と大きい。都市部と比較して地方部が高い



トピックス

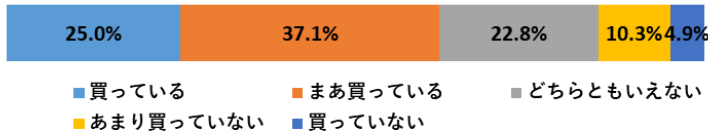
持続可能な農林水産業の実現

問35 地元や県内の農林水産業に活気があると思いますか



| | |
|---------|------|
| 18～29 歳 | 5.82 |
| 30 代 | 5.71 |
| 40 代 | 5.49 |
| 50 代 | 5.49 |
| 60 代 | 5.66 |
| 70 代 | 5.60 |
| 80 歳以上 | 6.02 |

問36 あなたは、地元や県内でとれた野菜、果物、魚介類、肉などの食材を買っていますか



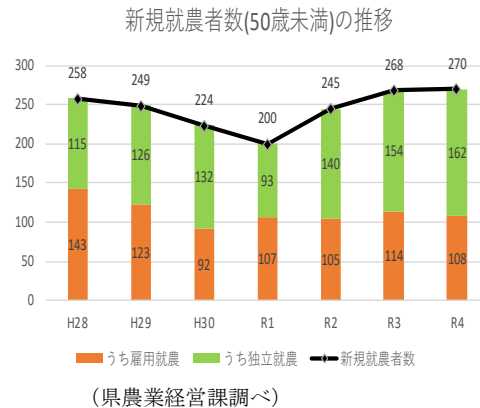
| | |
|---------|------|
| 18～29 歳 | 5.82 |
| 30 代 | 6.19 |
| 40 代 | 6.97 |
| 50 代 | 6.98 |
| 60 代 | 7.55 |
| 70 代 | 7.86 |
| 80 歳以上 | 8.34 |

農林水産業の活気については、全体的に低い傾向にあります。

地元や県内でとれた農林水産食材を買っているかについては、18～29 歳が最も低く、若い世代ほど地産地消意識がやや低い傾向にあります。

◆農業の担い手確保

コロナ禍を契機とした移住・就農への関心の高まりにより、県内の新規就農者数（50 歳未満）は、増加傾向にあります。今後更なる地域農業の新たな担い手の確保・定着に向け、県内外へ本県農業や農業者の多彩な魅力の発信に取り組む必要があります。また、多様な関心を持つ就農希望者へのきめ細やかな相談対応と研修・雇用の場の提供、就農形態に応じた経営安定・地域定着までの一貫支援が求められます。

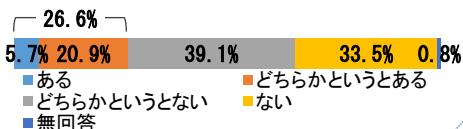


◆都市から多自然地域へ

都市住民の 26.6%が、農山漁村地域への移住願望が「ある」「どちらかという」と回答しています。生活の質の向上や豊かな自然環境などを求めて、都市住民の一定数は、多自然地域などへの移住希望を持っていると言えます。

農山漁村地域に移住してみたいという願望があるか

令和 3 年度農山漁村に関する世論調査(内閣府)



有機農業の拡大と持続的な農林水産業の支援

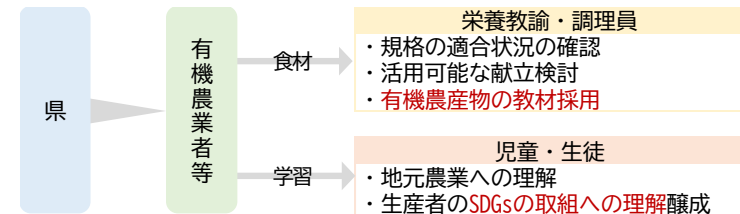
○ 有機農業アカデミーの開設

有機農業に興味を持つ就農希望者が増加する中、県立農業大学校に、「経営として成り立つ有機農業」を体系的に学ぶコースを新設し、人材育成を強化

- ・設置場所 県立農林水産技術総合センター（加西市）内
- ・定員 10 名（教育期間 1 年）
- ・整備項目 実習用ほ場整備、ビニールハウス、専攻棟等の施設整備等
- ・整備費 総額 325 百万円
- ・スケジュール（令和 8 年 4 月開校予定）

○ 県産有機農産物学校給食への活用

有機農産物の販路拡大に向け、安定的需要が見込まれる学校給食において、環境負荷の少ない農業の価値啓発を通じ、学校給食への県産有機農産物導入を支援

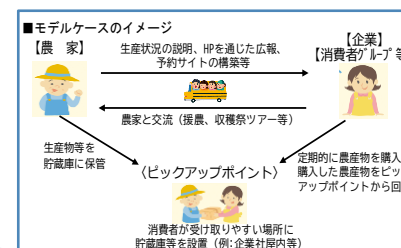


○ SDGs酒米・酒生産の支援

日本酒の有機 J A S 認証制度開始を踏まえ、環境創造型農業を推進する本県として、認証取得に向けた取組支援により、県産酒米・日本酒のさらなるブランド力を強化

○ CSA手法の拡大支援

有機農産物等の販路拡大に向け、生産者と消費者を強固に結びつけることが可能な CSA の手法を用いたモデルを形成し、シンポジウムにより好事例を展開



(参考)CSA
(Community Supported Agriculture)

- ・前払いによる農産物の契約を通じて相互に支え合う仕組み
- ・農作業等に消費者が参加する特徴



自立した経済が息づく社会

進化する御食国

■兵庫のゆたかさ指標

設問37

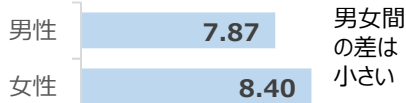
あなたは、食品廃棄物をできるだけ出さない暮らしを心がけていますか

全体平均

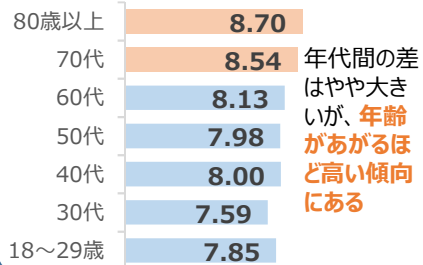


8.19

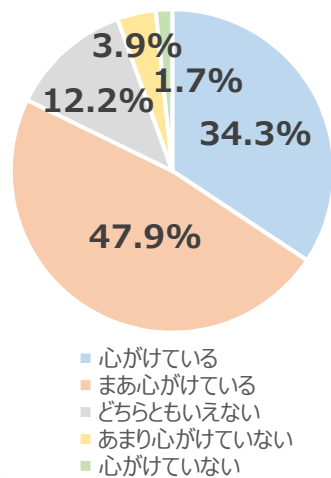
性別



年齢別

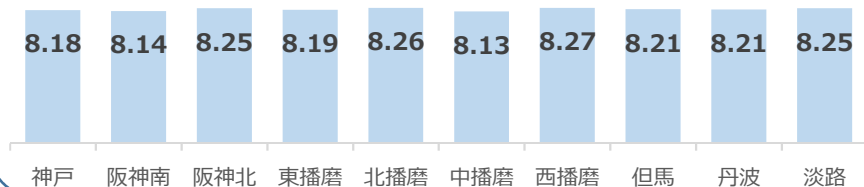


回答割合



地域別

地域による差はほとんどなく、都市部と地方部といった違いは見られない



■主な県の取組

- 学校給食アドバイザーの派遣や学校給食ファームの育成による県産食材の安定供給体制の構築など、学校給食への県産食材の供給拡大を推進（R5:事業活用10市町）
- スマート農業技術に関する産地毎の課題や企業情報などを集約・発信する専用サイトを開設(R4.11)し、スマート技術による課題解決や経営改善に向けた、産地と企業のマッチングを実施(R5:10件)
- 県農林水産業の持続的発展のため、農林漁業者のSDGsへの取組を推進する「ひょうご農林水産ビジョン2030×SDGs推進プロジェクト」を始動。事業者や消費者等への発信(R5:セミナー1回、シンポジウム1回)や現場での実践(R5:専門家派遣6者、事例集の作成)を実施
- 但馬牛改良手法にゲノム情報解析を取り入れ、遺伝的多様性を確保しながら、付加価値の高い但馬牛の育成を推進（R5:1,632検体のゲノム情報解析）
- 県産木材の活用のため、駅等の交通拠点施設など多数の県民が利用する病院や商店街等の木質化を支援（R5：商店街など7箇所）



スマート技術アシストスーツ実演会



ひょうご農林水産ビジョン2030×SDGs推進プロジェクトシンポジウム



自立した経済が息づく社会

活動を支える確かな基盤

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「家庭で災害に対する自主的な備えをしているか」については、阪神淡路大震災の被害の大きかった神戸、阪神南、阪神北、淡路はやや高い傾向にあり、その他の地域はやや低く、あらためて防災意識の底上げが必要である。
- 「治安が良く安心して暮らせる地域」についてはすべての地域で7点台と高い。
- 「便利な公共交通」については、神戸、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨の都市部が6～7点台であるのに対し、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路といった地方部が3～4点台以下と低い。

設問38

あなたは、家庭で災害に対する自主的な備えをしていますか

全体平均

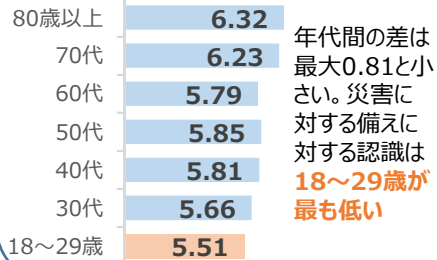
5.97



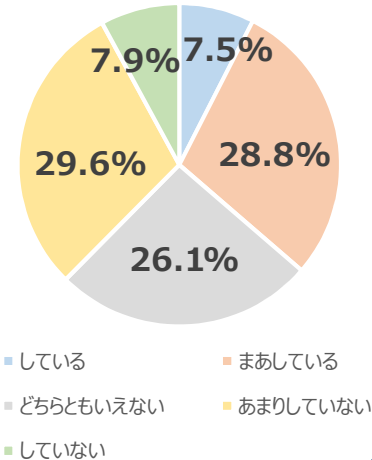
性別



年齢別

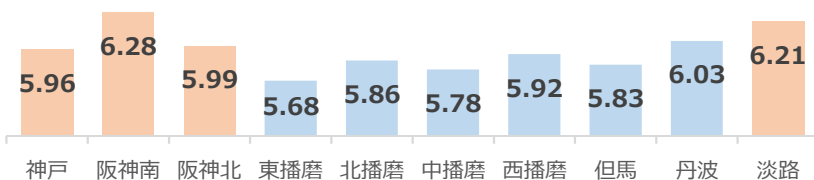


回答割合



地域別

地域による差は最大0.60と小さい。阪神淡路大震災で大きな被害のあった地域ではやや高い傾向にある



設問39

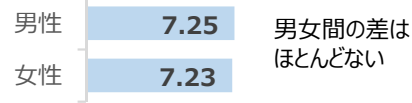
お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせると思いますか

全体平均

7.27



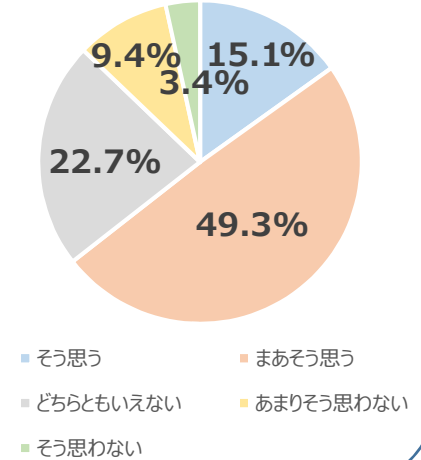
性別



年齢別



回答割合



地域別

地域による差は最大0.66と小さく、都市部と地方部といった違いは見られない





自立した経済が息づく社会

活動を支える確かな基盤

■兵庫のゆたかさ指標

設問40

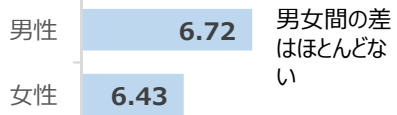
お住まいの地域の公共交通は便利だと思いますか。

全体平均

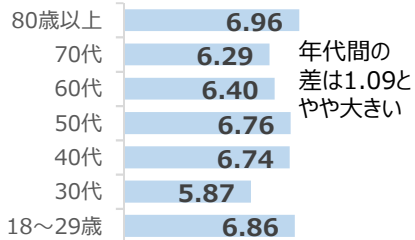


6.56

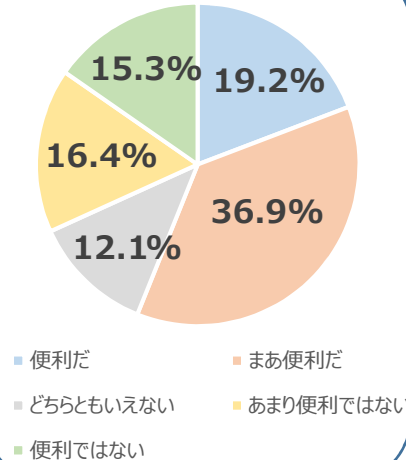
性別



年齢別

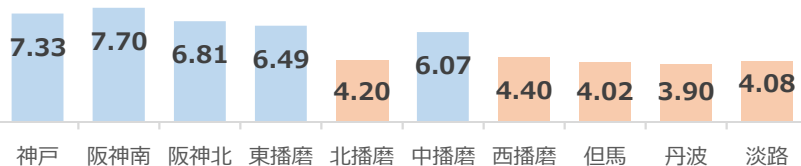


回答割合



地域別

地域による差は最大3.80と大きい。都市部が高く、**地方部が低い**



■主な県の取組

- 社会課題をデジタル技術により解決するモデル市の取組を県・企業等が連携して支援するとともに、その取組成果を県下に広げる「スマートシティモデル事業」を令和4年に創設（姫路市、加古川市、三木市、三田市、加西市、養父市を公募によりモデル市に選定）し、取組を推進
- 県土の骨格を形成し、県全体の発展基盤となる基幹道路八連携軸を構成する高規格道路ネットワークの早期整備を推進(R5:全体延長916.5km中開通済774.7km(84.5%)、整備中58.6km(6.4%)、未着手83.2km(9.1%))
- 福良港の湾口防波堤の整備など、地震・津波対策等の防災・減災対策を実施し、災害に強い県土づくりを推進
- 社会問題となった水上オートバイによる危険行為等への対策として、「遊泳者等から100m以上離れて航行する」等の自主ルールを設定（都道府県の海域すべてを対象とした独自ルールの設定は全国初）（R4.7）



東播磨道北工区
(部分開通式典)



福良港湾口防波堤整備

5つのめざす社会



生命の持続を先導する社会

めざす姿⑬

カーボンニュートラルな暮らし 自然との共生が日々の暮らしに浸透し 地域と世界の持続可能性が高まる社会

めざす姿⑭

分散して豊かに暮らす 自然の豊かさを享受する暮らしが各地で営まれ 大都市集中が緩和した社会

めざす姿⑮

社会課題の解決に貢献する産業 兵庫発の社会課題を解決する産業で 暮らしの持続可能性を高め国内外を先導する社会



生命の持続を先導する社会

カーボンニュートラルな暮らし

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「自然環境が守られているか」「環境に配慮した購入行動をとっているか」については、すべての地域で6点台後半から7点台、「節電・省エネに取り組んでいるか」については、すべての地域で7点を超えており、環境意識の高まりが感じられる。
○年代別に見ると「節電・省エネに取り組んでいるか」「環境に配慮した購入行動をとっているか」については、10～30代が低くなっており、若年層の環境意識をさらに高めていく必要がある。

設問41

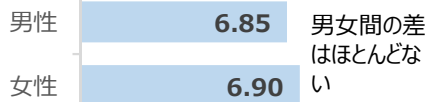
お住まいの地域では、山、川、海などの自然環境が守られていると思いますか

全体平均

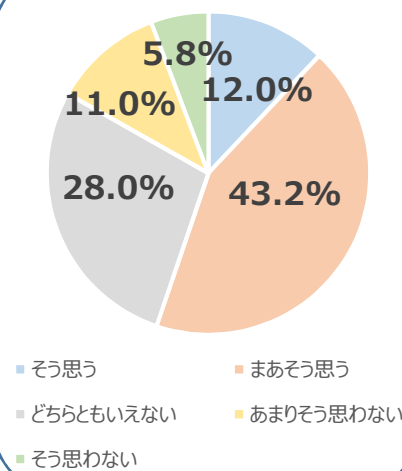


6.89

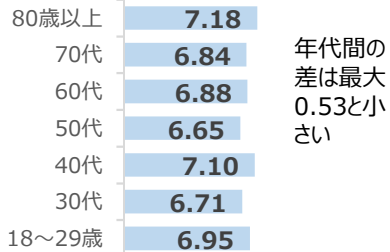
性別



回答割合

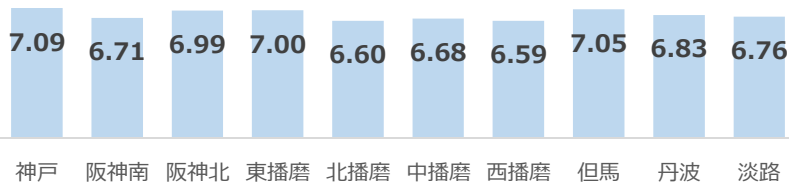


年齢別



地域別

地域による差は最大0.50と小さい



設問42

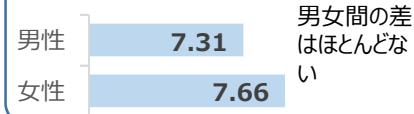
あなたは、日頃から節電・省エネに取り組んでいますか

全体平均

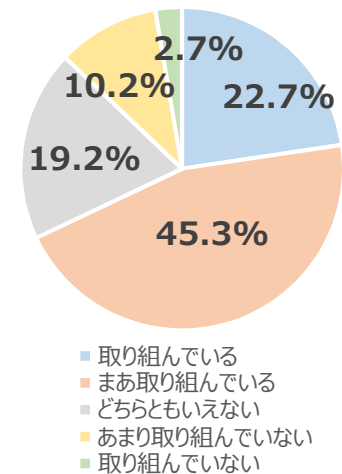


7.50

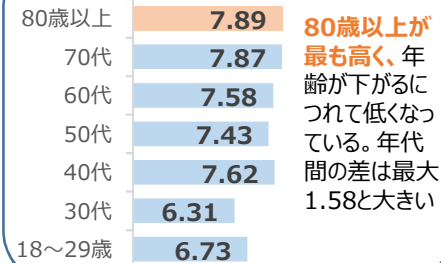
性別



回答割合

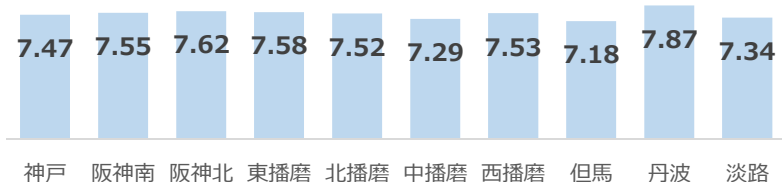


年齢別

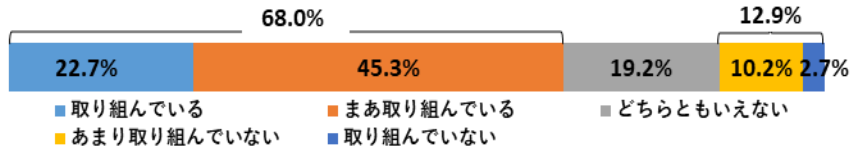


地域別

地域による差は小さく、都市部や地方部といった違いは見られない



問 42 日頃から節電・省エネに取り組んでいますか



「取り組んでいる」「まあ取り組んでいる」と回答した人の割合は68.0%で、「取り組んでいない」「あまり取り組んでいない」の12.9%を大きく上回っており、省エネ・環境問題に関する関心の高さがうかがえます。

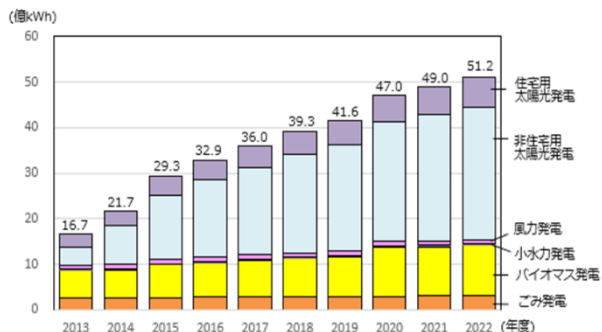
◆気温変化の将来予測



世界や日本の気温上昇と同様に、県内各地の年平均気温は長期的に上昇しています。21 世紀末の県内の年平均気温は、20 世紀末の年平均気温に比べて約 4℃ (3.8℃~4.8℃) 上昇すると予測されており、神戸の年平均気温は現在の種子島 (鹿児島県) よりも高くなると考えられています。

21 世紀末の年平均気温の将来予測 (気候変動適応情報プラットフォーム)

◆県内の再生可能エネルギーの導入状況



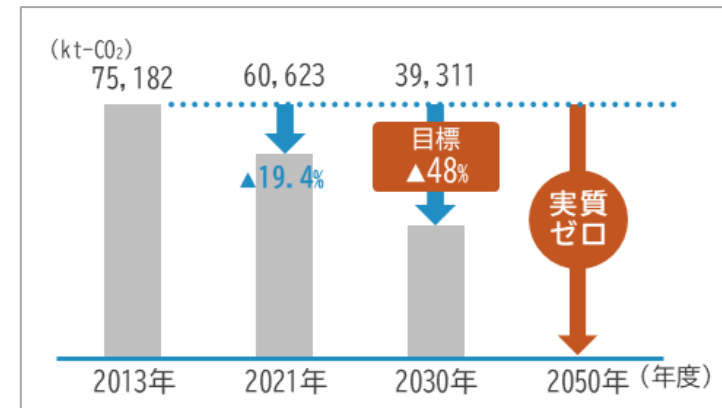
(兵庫県環境部調べ)

本県の再生可能エネルギーによる年間発電量 (大規模水力発電による発電量を除く) の約 7 割を太陽光発電、約 2 割をバイオマス発電が占めています。近年は、FIT 制度の買取価格の低下や適地の減少等により導入の伸びが鈍化しています。

脱炭素化への取組

○ 温室効果ガス削減目標

兵庫県地球温暖化対策推進計画に基づき、県民・事業者・団体・行政等が一体となり、2030 年度 48%削減 (2013 年度比) の達成に向けた取組を推進



○ 脱炭素化に向けた取組例

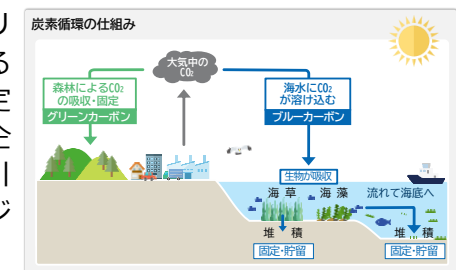
・ひょうご脱炭素経営スクールの開校(R6~)

企業の自主的な脱炭素化への取組を促進するため、県内中小事業者等が、脱炭素経営のポイントや省エネ、再エネ導入の実践的手法について学び、行動に繋げるための伴走支援として、「ひょうご脱炭素経営スクール」を開校

- ・対象 県内中小事業者等
- ・対象者数 20 社程度

・ひょうごの海を活用したブルーカーボンの創出

ブルーカーボン生態系 (ノリ養殖、海藻や海草等が繁茂する藻場) による CO₂ 吸収・固定量を定量化するとともに、企業・団体等とのクレジット取引を行うブルーカーボンの創出を検討





生命の持続を先導する社会

カーボンニュートラルな暮らし

■兵庫のゆたかさ指標

設問43

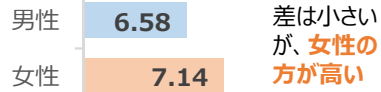
あなたは、製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか

全体平均

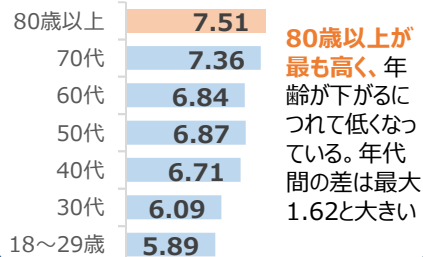


6.92

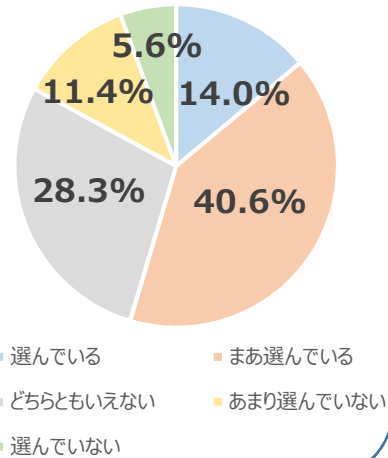
性別



年齢別

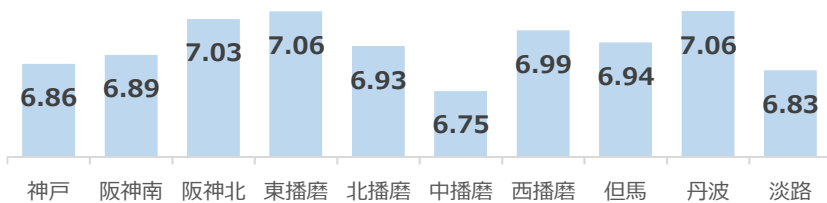


回答割合



地域別

地域による差はほとんどなく、都市部や地方部といった違いは見られない



■主な県の取組

- 2050年の水素社会の実現に向け、産学官が連携する「ひょうご水素社会推進会議」を設置(R4.10)し、水素の活用方策などの具体的な検討を推進
- 水素社会の先進地を目指し、県内自治体・産業界・大学等がオール兵庫で取り組んでいくことを「ひょうご水素社会推進シンポジウム」(R5.1)で広く発信
- 燃料電池モビリティの普及促進を図るため、水素ステーション、パッケージ型水素供給設備、燃料電池バスの導入費用を支援 (R5:各1件共用・運行開始)
- ものづくり産業やエネルギー産業が集積する播磨臨海地域において、「ファースト・ムーバー「播磨」for瀬戸内・関西」を基本コンセプトに、官民連携でカーボンニュートラルポートの形成を推進。
- 環境改善効果をもたらすグリーンプロジェクトの推進を目的としたSDGs債（グリーンボンド）を発行（国内市場公募SDGs債で過去最多の271件の投資表明があり、R5.6に発行条件決定後、即日完売）



ひょうご水素社会推進シンポジウム



燃料電池バス



生命の持続を先導する社会

分散して豊かに暮らす

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「地域に愛着や誇りを感じるか」については、すべての年代、すべての地域で6点台後半以上と、おおむね高い点数となった。
- 「住んでいる地域をより良くしたり盛り上げたりする活動に参加しているか」については、神戸、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨の平均が5.92、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の平均が6.13と、差は大きくないが、地方部が都市部より高い。
- 「ICTなどによりどこにいても便利に暮らせる社会になってきているか」については、平均6.45と6点台後半で、一定程度の実感は得られてきている。

設問44

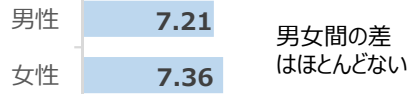
あなたは、住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか

全体平均

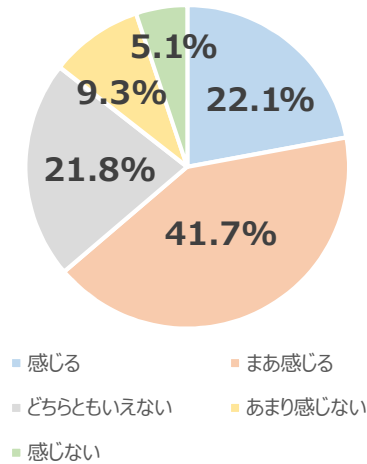


7.33

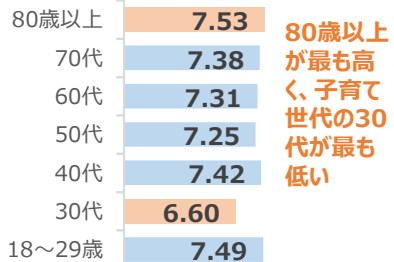
性別



回答割合

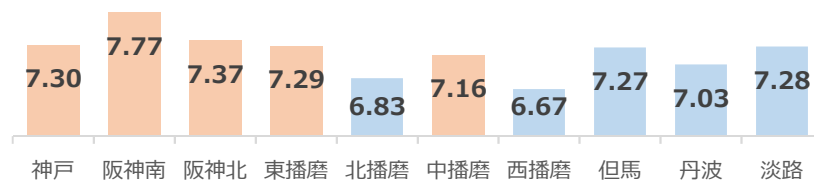


年齢別



地域別

ばらつきはあるが、傾向としては都市部が高い



設問45

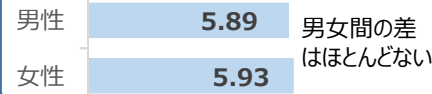
あなたは、住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加していますか、または参加したいと思いますか

全体平均

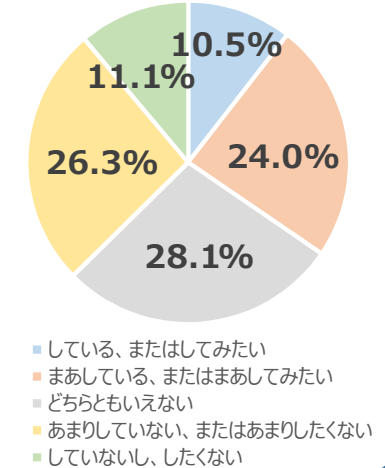


5.93

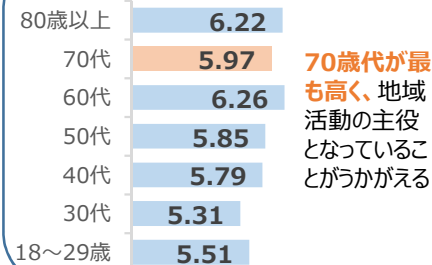
性別



回答割合

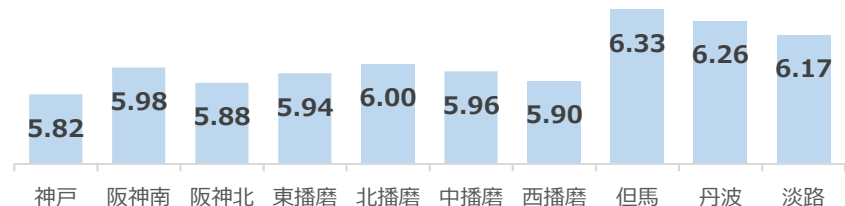


年齢別



地域別

地域による差は最大0.51と小さい。傾向としては地方部が高い





生命の持続を先導する社会

分散して豊かに暮らす

■兵庫のゆたかさ指標

設問46

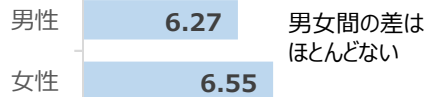
ICT（情報通信技術）などにより、どこにいても便利に暮らせる社会になってきていると思いますか

全体平均

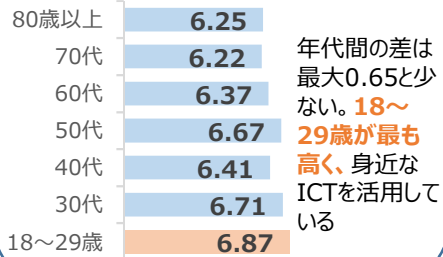


6.45

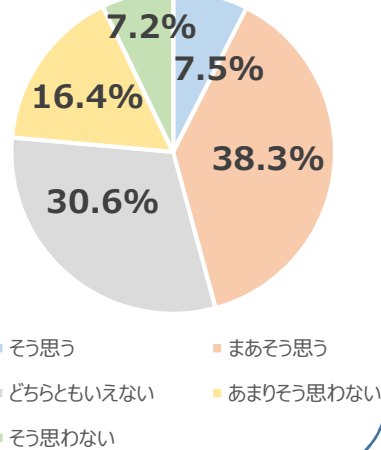
性別



年齢別

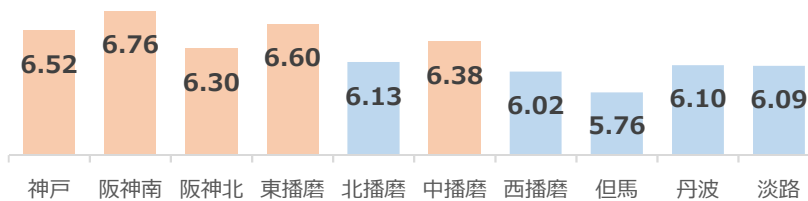


回答割合



地域別

傾向としては都市部が高い



■主な県の取組

- 多自然地域における持続可能な生活圏の形成に向け、R5年度から市町への事業費および人件費等の支援をスタートしたところであり、3年間において集中的な支援を実施。（地域運営体制の構築や住民の生活機能の維持・確保などに取組む6市町を支援）
- 地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない鉄路を維持するため、関係市町、事業者、有識者の意見を幅広く聴取する「JRローカル線維持・利用促進検討協議会」を設置（R4.6）し、官民連携で利用促進の方向性をとりまとめ、各路線で利用を促進
- 市町に対する広域的・専門的な県支援事業の具体的な内容や実施方法を検討するため、県関係課、関係市町、有識者等で構成する「ひょうご多自然地域づくりネットワーク会議」を設置（R5.5）し、3つのプロジェクトチーム（①人材育成②シンクタンク③外部人材活用）で効果的な支援策の検討及び支援を実施
- 「空家活用特区条例」に基づき、令和5年度は加西市宇仁築、西脇市芳田築及び播磨町上野添・北野添築の3地区を「特区」に指定し、空家をカフェや店舗等へ用途変更し活用する取組を進める等、移住・定住・交流の促進や地域の活性化を推進



JRローカル線維持・利用促進検討協議会



市町多自然地域づくり担当職員階層別研修



生命の持続を先導する社会

社会課題の解決に貢献する産業

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

- 「生活の不便さを補うサービスが増えているか」について、もっとも低いのは但馬の5.32、もっとも高いのは阪神南の6.40で、ばらつきはあるが、概して都市部の方が高い。
- 「社会を先導する新しい産業」については、平均5.74とやや低く、共創による新たなイノベーションや、先端分野での技術開発支援などを促進していくことが重要である。

設問47

お住まいの地域には、生活の不便さを補うさまざまなサービスが増えていると思いますか

全体平均

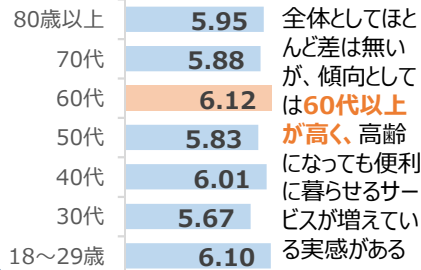
5.96



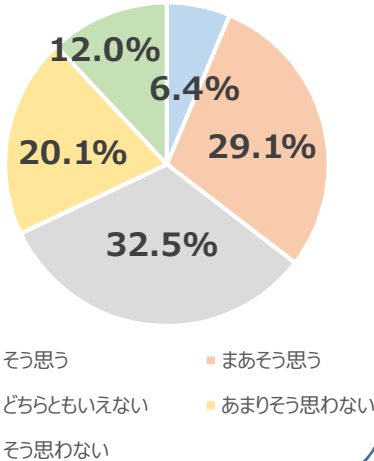
性別



年齢別

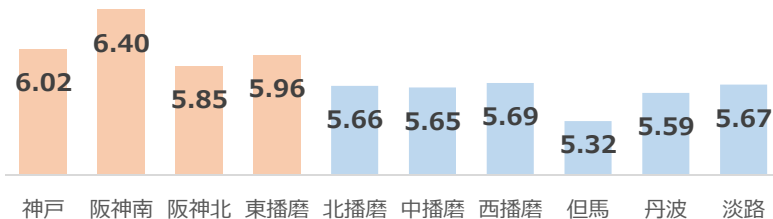


回答割合



地域別

地域による差は最大1.08とやや大きい。傾向としては**都市部が高い**



設問48

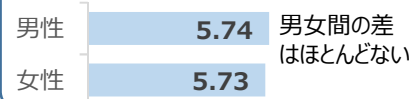
兵庫県は、社会を先導する新しい産業が活発な県だと思いますか

全体平均

5.74



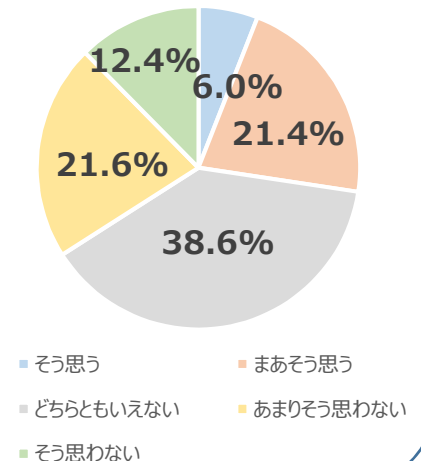
性別



年齢別

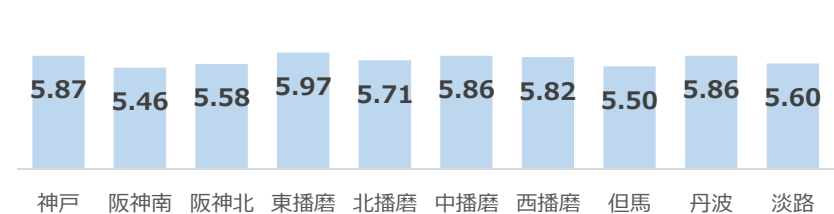


回答割合



地域別

地域による差はほとんどなく、都市部や地方部といった違いは見られない





社会課題の解決に貢献する産業

■ 主な県の取組

- 民間企業のアイデアやノウハウを活かし、デジタル技術などで地域課題の解決に取り組む「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」を開始R5年度は消防団活動のDX化による担い手確保等9件のプロジェクトを展開)
- 次世代成長産業分野（航空・宇宙、環境・水素等新エネルギー、健康・医療）への中小企業等の参入を促進するため、関係分野での新製品の試作開発を支援(R5:12件採択)
- ドローンの社会実装を加速させるため、先進県である兵庫県において、全国初となる「第1回ドローンサミット」を開催（併催イベント含め約13,000人が来場・視聴）（R4.9）
- 「ひょうごSDGs Hub」を軸に、企業・団体・学校等との連携によりSDGsを推進。「ひょうご公民連携プラットフォーム」の枠組みを活用し、経済団体等と連携して県政の重点テーマに挑むSDGs公民共創プロジェクトを本格展開（R5.4～）